

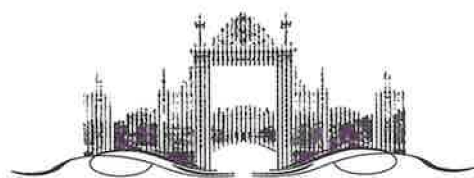


Rotary International
LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.948 / 2007.4.13

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 荒木昭文会長

●本日の例会 / 2007年4月13日 第971回例会

◎卓話 「泉の家の状況と今後の計画」

社会福祉法人泉会 泉の家施設長 保坂 俊晴 氏

出席報告：

会員55名 / 出席30名・欠席25名（出席規定免除者5名）

ビジター / 米倉健司（豊島東RC）、伊達則彦（四日市RC）

計2名

ゲスト / 大木栄二郎（卓話者）

（順不同・敬称略）

— ●先週報告 / 2007年4月6日 第970回例会 —

◎卓話

『ネット時代のワークスタイル』

工学院大学 情報学部教授
大木 栄二郎 氏



お知らせ

◆会員住所変更 / 墨屋 勇 君

事業所新住所：オーダーメイド創業株式会社

（事業所名は変更ありません）

〒105-0001 港区虎ノ門 1-14-1

郵政福祉琴平ビル1階

TEL 5501-2020 FAX 5501-2039

幹事報告：

- ① 4月28日（土）14:00～「米山梅吉記念館春季例祭」が米山梅吉記念ホールにて開催されます。
- ② 4月20日「夜間例会レディスデイ&チャリティーバザー」の会場が都合により、ギャラクシーから「グローリー」へと変更になりました。

慶事披露：

誕生日祝 / 橋本年男君（4月2日）



100%出席祝 / 荒木昭文君（16年）、高須康有君（18年）、村山公士君（11年）、庄司泰典君（8年）、土屋東一君（4年）、尾上寛君（4年）、竹本孝三郎君（4年）



4月6日 / 17件35,000円 / 本年度累計1,110,335円
多額のご寄付をありがとうございました。（敬称略）

荒木昭文、渡部一元 / 大木先生、本日の卓話宜しくお願ひします。高須康有 / 100%出席の賞をありがとうございます。皆様のお陰です。村山公士 / 皆勤賞ありがとうございます。内田憲三 / 歓迎会ありがとうございます。これからよろしくお願い致します。橋本年男 / 先日の歓迎会海外出張で欠席しました。大変失礼致しました。本日は誕生祝ありがとうございます。松永秀和 / 東京ミッドタウンが開業しました。桜が綺麗でした。メールで「花便り」をお送りしました。岩上さん、写真ありがとうございます。岩上義明 / 尾上さん、石井さん、鶴間さん、中国大連旅行では大変お世話になりました。田村昭二 / 3/20に初孫ができました。おじいちゃんていいものですね。岩上さん、写真ありがとうございます。尾上寛 / 岩上さん、毎度毎度写真ありがとうございます。また、大連でもお世話になりました。庄司泰典 / 8年皆出席祝、ありがとうございます。寒暖の差が激しくて持病の腰痛が出てきましたが、親睦旅行は問題ありません。石井謙次 / 大連へ行ってきました。皆さん、お世話様。竹本孝三郎 / 地区予選ゴルフ大会、2位で突破。2750地区の決勝進出です。福島賢哉 / 春爛漫です。いい季節になりました。馬場さんニコニコご苦労様です。山川政樹 / 馬場さん、ご苦労様です。桜が散りかけて淋しい限りです。馬場一廣 / ご協力ありがとうございます。

筆跡診断

十年程前、日本筆跡診断士協会会長の森岡恒舟先生の筆跡と性格との関連性についてのお話を伺う機会があり、大変話の内容が面白く興味をそそられたので早速森岡先生に入門し、3年間に亘り初級、中級、上級と勉強しました。フランスではグラフィック（日本語では筆跡診断士）として筆跡と性格との関連を科学的に研究する学問が盛んで、国家資格を与えております。森岡先生は東京大学文学部で心理学を学び、かつ書道の師範ということを通じ、日本ではじめて筆跡診断の研究をされて筆跡診断学の体系を確立された方です。まだ世の中で十分に認知されておませんが、最近は事件がおきるとマスコミに登場し、筆跡から犯人像などを浮かびあがらせています。「字は人なり」と言われますが、筆跡には無意識に書いた人の潜在意識があらわれ、性格や行動傾向が現れてきます。金運、愛情運、健康運、職業運等を推測し、適切にアドバイスするのが筆跡診断士としての仕事です。また、筆跡は水の流れるごとく無意識のうちに自然に出てくる行動パターンですので変えることは難しいのですが、意識的に何度も繰り返すことにより変えることができ、それが潜在意識に働きかけ、日常の行動や、運勢や性格を変えるということも可能といわれております。

教材はハガキの宛名書きの筆跡から心理学的な読み方をすることです。字と字の間をくっつけて書く人とあけて書く人がおります。これは無意識に自分がいちばん落ち着くところの感覚で書いております。字を書くときの字間のとり方は個人差がでます。各人は習慣化した字間の取り方があり、無意識の管理機能が働いており字間を空けたり、意識的に狭めたり、字を大きくしたり小さくしたりすることは変えることはできても抵抗があって疲れる。字と字の間をくっつけて書く人は字を書く以外の日常生活でも次々と間を空けずに行動するせっかちなタイプが多い。車の運転で言えば車間距離をとらず同乗者に注意され、しばらくは車間距離をとってもしばらくするといつのまにかまたもとの車間戻ってしまいます。それが当人にとって一番安全で楽だからです。字の間の間隔というのは無意識の行動であり、それは日常生活の行動にも現れるということです。つまり筆跡には無意識下の人間性が現れるということです。

へんとつくりの間の広がりを書道では「気宇」称し、気は心の意味、宇は広がり、気宇とは心の広がり包容力をさす。たとえば「様」と書くとき、へんとつくりのつくりの空間が広く書く者は筆跡心理学でいうと、気宇が広く大きいといえます。外からどんどん入ってくるものを好み、出てゆくものを気にしない。つまり社会性があり包容力があるということになる。そこを狭く書くというのは心理的に息苦しさを感ずる深層心理がある。外から入ってくるものに不安を感ずるものはガードを堅くするためにへんとつくりの空間を密着させ、見知らぬ者には容易に心の扉を開こうとしない。へんとつくりの空間をどう書くかは小さなことかも知れないが、狭すぎて息苦しく感ずるか、開けすぎて不安を感ずるかは深層心理の差であり、字を書くとき以外でもこの深層心理が日常生活の行動にもあらわれてくる。心を広く包容力も持てといっても容易ではないが、へんとつくりの空間を広く書くことは目に見えてわかることであり、深層心理の改善につながるといわれております。

人によりさまざまな書き方があるが、第一画に横線をかいて、次にその横線の上から縦線を書く形では「大」や「木」のがあるが、この「大」や「木」の字の第二画縦線の頭部突出度を、長突出型、中間型、控えめ型の三種類に分けるとすると、多くの人は中間型だが、中にはいつ書い

ても長く上へ突き出す人と控えめな人がいる。いつもそうなるということは、大脳の中に無意識にコントロールする機能があると考えられる。深層心理学的には、第一画の横線「一」を標準とか平均と考えたと、それよりも常に上のほうに向かってエネルギーが働いていると考えられます。超突出型の人は300人に一人ぐらいで、一時期総理の座を争った三、角、大、福、中のうち、大平さんを除いて超突出型のようなようです。

現代ではITの発達で「書く」というかわりに、「キーを打つ」という行為が参入してきました。将来次第に「書く」が縮小し、「キーを打つ」が増えてくる可能性が大了。情報伝達的手段としては代替されてもしかたがないかもしれないが、江戸時代の寺子屋では、読み、書き、そろばんが教育内容の基礎をしめ、その積み重ねの上に学問が発達してきたとおもわれますが、「書く」という行為が縮小されて行くのは何か失ってゆくのも大きいのではないかと考えさせられます。

3月 火曜会報告

4月3日（火）全日空36Fマンハッタンラウンジにて恒例の花見を兼ねた火曜会が開かれました。年間のスケジュールからすると待ちに待った二人目の女性会員スピーカーとご案内していましたが増強委員会をはじめ女性会員の縁を取り持つことができず、急遽サクラにちなんだ話題を盛り込み、各自近況報告を含めてのスピーカーになっていた。初出席の内田さんを交えて13名での開催でした。話題は、中国の黄砂に始まり、砂漠化を阻止するための緑化運動、ロスアンゼルス生態系の歴史、サクラの寿命、花粉を放つ杉の謎、そして花見のスタイルもいろいろ、日本人の侘び寂びの世界でしっとりとした心で楽しむ花見など、会場は、熟年サクラ満開でした。その会場に夢のような来場者を迎え、スピーカーの声が届かぬほどのざわめきに包まれました。実は、田村昭二さんご紹介の女性会員候補、實藤さん「サネフジ」が現れたのです。現在、入会を前向きに検討し、かつ赤坂RCの雰囲気 気に触れたく、田村さんの強力なお誘いに応じての出席で、明朗快活に現職などを交えて即効のスピーカーとなっていました。6、7月頃をめどに気持ちの準備中とのこと。散会后、全日空ホテルの裏道が花見の新名所で、記念写真を行きずりの女性に「楽しげに撮って」と懇願し、實藤「サネフジ」さんには、二次会にも同伴していただき、大いに盛り上がりしました。ただただ熟年会員の手の込んだプロポーズを受け入れていただけますよう祈るばかりです。

（竹本記）

参加者：村山、内田、飯島、竹本、尾上、椎名、入沢、岩上、田村（昭）、西澤、石井、荒木、小原 計13名

●次週予告／2007年4月20日

第972回夜間例会

レディースデイ&チャリティーバザー

例 会 場 所：東京全日空ホテル B1「グローリー」

チャリティーバザー：17：00～17：50

夜 間 例 会：18：00～20：00

◎卓話予定『外国映画日本語吹き替え放送50周年記念の思い出』

声優 日本俳優連合 理事長 波佐間 道夫氏
(東京南RC)

シンセサイザー演奏者 増田 年男氏
(紹介者 吉岡琢磨 君)